

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和8年度（2026年度）病虫害発生予察注意報第3号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和8年度（2026年度）病虫害発生予察注意報第3号

農作物名 果樹全般（かんきつ、なし、かき、ぶどう等）
病虫害名 果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 8月以降
- 3 発生程度 平年比多

4 注意報発表の根拠

- （1）合志市、宇城市に設置している予察灯の誘殺数は平年より多く推移している。天草市では前年並で7月中旬は平年よりやや少ないが、下旬から増加傾向に転じている（図1）。
- （2）増殖源であるヒノキ結果枝上の寄生密度が平年より高く（図2）、幼虫の割合は7月上旬の0.0%から7月下旬の58.1%と新生世代が急速に増加している（データ省略）。
- （3）ヒノキ球果上の口針鞘（加害痕）数は平年より速く増加しており、餌の劣化が進んでいると考えられる（図3）。7月下旬の口針鞘数から予測される山林からの離脱時期（果樹園への飛来開始時期）は、総じて平年より20日程度早く、一部地域ではすでに離脱が始まっていると考えられる（表1）。

5 防除対策

- （1）果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、大きな被害をもたらすことがあるので、定期的に園をよく見回り早期発見に努める。特に、山沿いの園地や収穫が近い成熟した果実は先行して被害を受けやすく、同一園内でも局在するため、園内全体を観察し、薬剤による初期防除を徹底する。
- （2）チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの予察灯誘殺状況を病虫害防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/201915.html>）に掲載しているので、最新の情報を確認し、終息するまで観察の参考にする。



本注意報は、病虫害防除所ホームページに掲載しています。

「<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>」

- (3) 果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。ピレスロイド系殺虫剤（IRACコード：3A）の多用は、天敵類への影響が大きく、ハダニ類やカイガラムシ類の発生を助長するので、最小限の使用に止める。
- (4) 農薬の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物や有用昆虫・魚介類等の環境に影響がないよう飛散（ドリフト）防止に努める。付近にミツバチの巣箱が設置してある園では、事前にその管理者に連絡するなど、農薬による危害防止に努める。

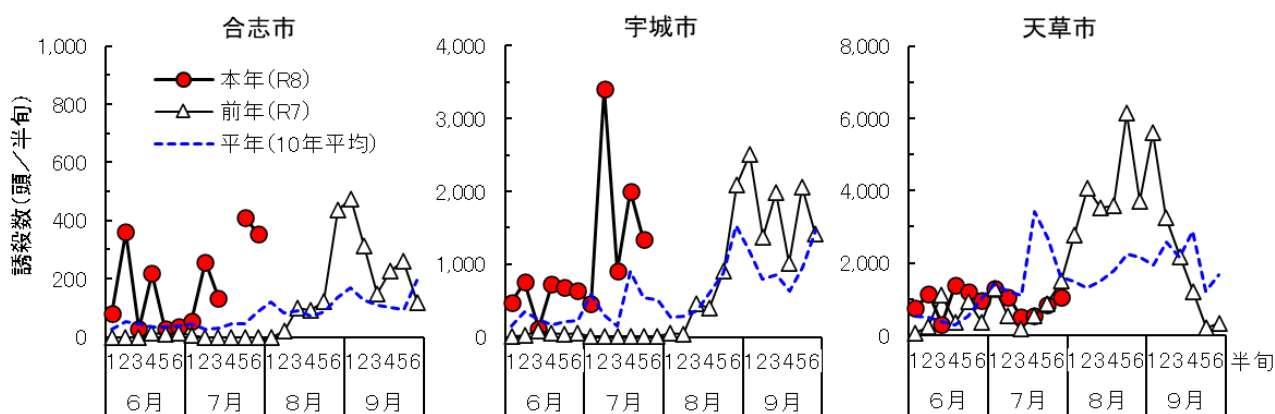


図1 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長

チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの合計。

合志市の欠測期間：R8年7月第4半旬、R7年6月第1～3半旬、R7年7月第4半旬～8月第1半旬

宇城市の欠測期間：R4年5月第5～6半旬、R2年7月第3半旬、H30年5月第3半旬

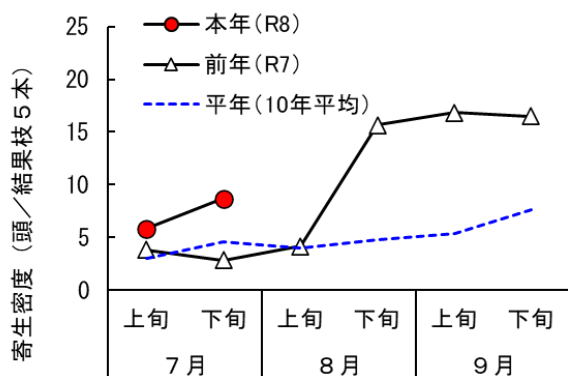


図2 ヒノキ結果枝上の寄生密度の推移

6地点（熊本市1、合志市1、宇城市2、天草市2）の平均。

H30～R2の9月下旬は欠測。

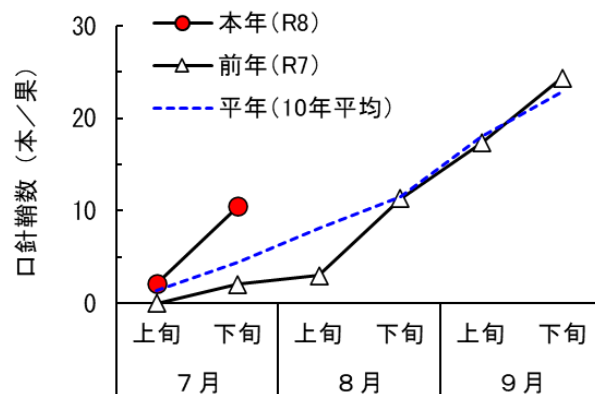


図3 ヒノキ球果上の口針鞘数の推移

6地点（図2と同地点）の平均。

R2の9月下旬、H30の8月下旬以降は欠測。



表1 各地におけるヒノキ球果からの離脱開始予測日

調査地点	離脱予測日							5年平均比
	R3	R4	R5	R6	R7	5年平均	本年(R8)	
熊本市(河内)	9月10日	9月11日	8月28日	8月21日	9月11日	9月3日	8月8日	26日早い
宇城市(松橋)	9月3日	8月23日	9月8日	9月2日	9月12日	9月3日	7月27日	38日早い
宇城市(三角)	9月7日	8月26日	8月24日	9月8日	8月22日	8月29日	8月19日	10日早い
合志市(栄)	9月6日	9月4日	9月10日	8月30日	9月12日	9月6日	7月27日	41日早い
天草市(上島)	—	7月26日	8月31日	8月19日	9月1日	8月19日	9月2日	14日遅い
天草市(下島)	9月12日	—	9月7日	8月29日	9月12日	9月7日	8月21日	17日早い
平均	9月7日	8月24日	9月2日	8月28日	9月6日	9月1日	8月12日	20日早い

<予測日の算出方法>

福岡県農業総合試験場が開発した予測式により算出した。

予測式： $Y = 54.17 - 3.776X + 0.01937X^2$

Y：調査日から離脱開始日までの日数、X：7月下旬のヒノキ球果1果当たり口針鞘数

Xは小数点第二位を四捨五入、Yは小数点以下切り捨て

予測式による計算値が調査日より前になった場合は（－）とした。

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター生産環境研究所内)
担当：江口 TEL 096-248-6490



本注意報は、病害虫防除所ホームページに掲載しています。

「<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>」